

第99期 年次報告書

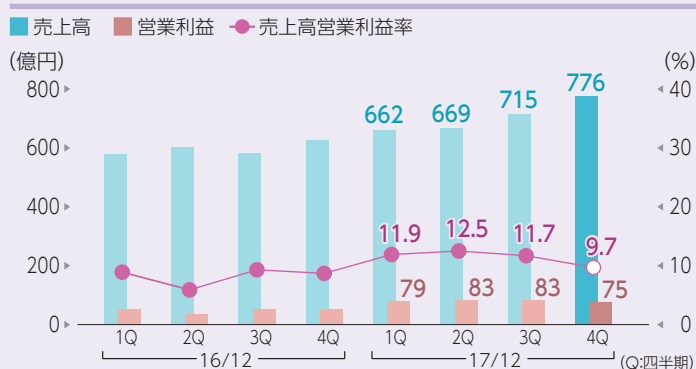
2017年1月1日 ▶ 2017年12月31日



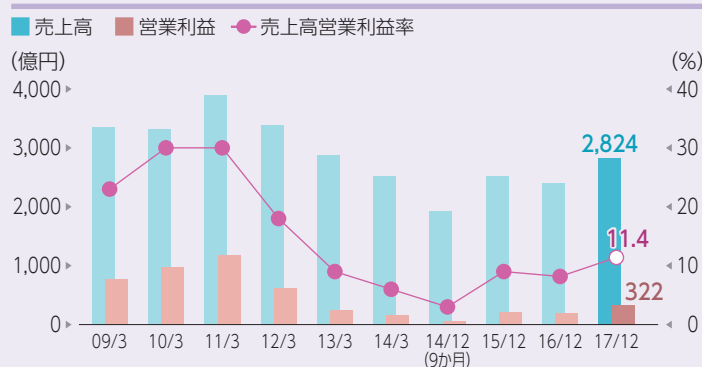
Art by Shinichiro Aikawa

連結財務ハイライト

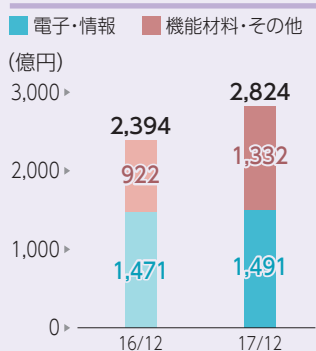
四半期 売上高・営業利益・売上高営業利益率



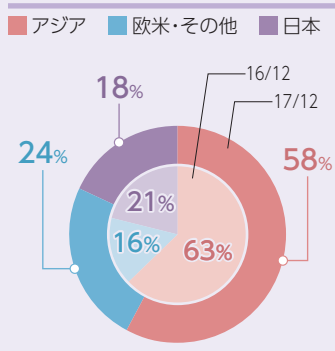
売上高・営業利益・売上高営業利益率



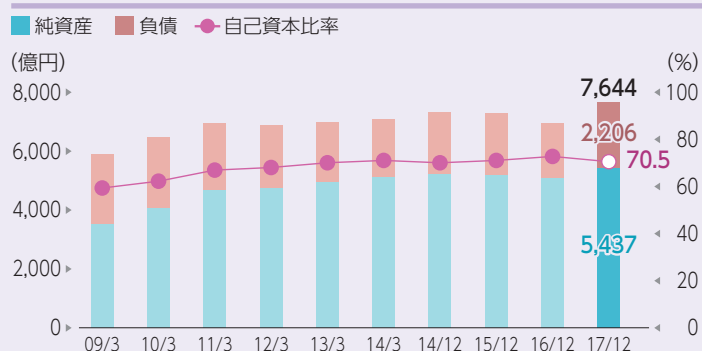
部門別売上高



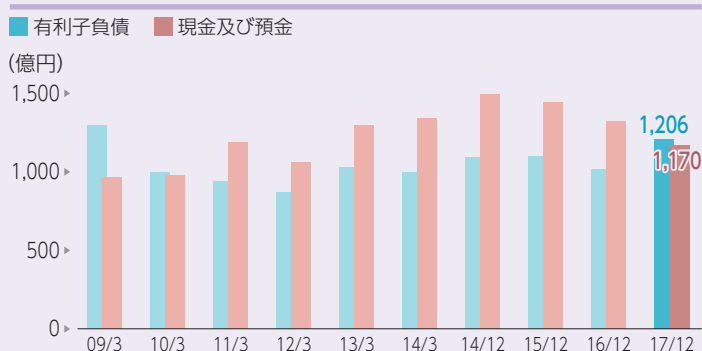
地域別売上比率



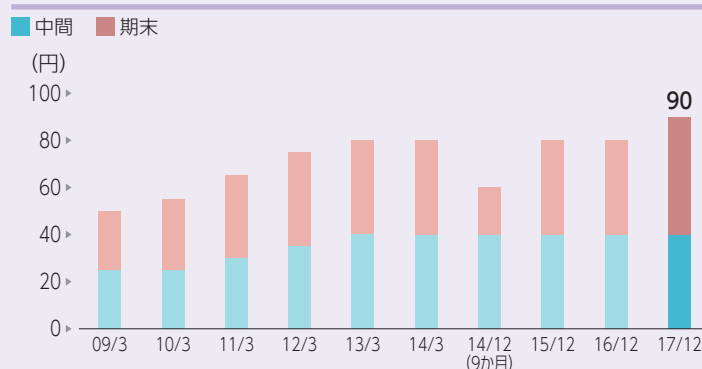
負債・純資産・自己資本比率



有利子負債・現金及び預金



1株当たり配当額の推移



※各期を比較しやすいよう株式併合による影響を遡及して調整の上記載

TOP MESSAGE

2018年度は中期経営計画「EGP2018」の最終年度、経営目標の達成に全力で取り組みます

社長 松本 元春

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2017年度(2017年1月1日～12月31日)においては、世界経済は概ね安定して推移し、当社の業績も前期を上回るペースで進捗させることができました。

主力事業の概況については、液晶ディスプレイ用基板ガラスは好調な需要の下、計画以上に出荷を伸ばすことができました。特に成長著しい中国では、新たな加工合弁事業(福清市)がスタートし、新規顧客向けを含め出荷が拡大しました。また、生産性改善が着実に進展したことや、価格下落の緩和等により、収益性が改善しました。ガラスファイバは、自動車部品向けの堅調な需要に支えられ、安定した生産と出荷を実現できました。昨年9月にはPPG社の米国ガラス繊維事業を買収し、グローバルな生産供給体制(日本・マレーシア・欧州・米国)を築きながら、過去最高の売上を記録しました。

これらの結果、売上高2,824億円(前期比18.0%増)、営業利益322億円(前期比64.5%増)、経常利益341億円(前期比144.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は271億円(前期比447.1%増)と大幅な増収増益を達成することができました。

2018年度は、中期経営計画「EGP2018」の最終年度となります。液晶ディスプレイ用基板ガラスは、中国(廈門市)での増産(2018年1Q稼働開始)や更なる生産性改善で競争力を高め、市場におけるプレゼンスを高めてまいります。ガラスファイバは、液晶ディスプレイ用基板ガラスとともに会社を支える大きな柱となりました。買収した欧米拠点の設備改善に加え、米国での増産(2018年2Q稼働開始予定)などにより、市場成長に積極的に対応していきます。これらにより、中期経営計画「EGP2018」に掲げた経営目標の達成に取り組んでまいります*。

なお、株主様への還元については、1株当たりの期末配当を50円とし、中間配当40円とあわせ年間で90円(前期比10円の増配)とさせていただきます。2018年度は、中間50円、期末50円、年間で100円を予定しています。今後も、長期的に安定した配当を継続すると同時に、時機に応じた弾力的な還元策も検討していく所存です。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

*中期経営計画の進捗や課題、成長戦略については、本年5月発行予定の「統合レポート」にて詳細をお伝えします。

TOPICS

ガラスファイバの米国新拠点取得と、生産能力増強

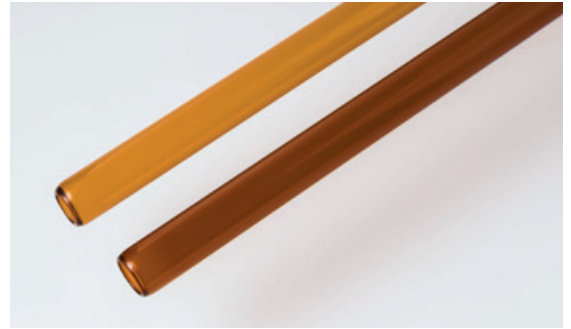
2017年9月1日付で、PPG社の米国ガラスファイバ拠点が当社グループの傘下に入りました。また、欧米の需要拡大に対応するため、欧米拠点での生産能力増強を決定しました(グループの生産能力は従来比約10%増加)。

欧米拠点での生産能力増強計画

所在地	米国	オランダ
生産能力増強	4万トン/年	10万トン/年
設備投資額	約30億円	約70億円
生産開始時期	2018年2Q(予定)	2019年1Q(予定)

医薬用管ガラスの新材料(高遮光性タイプ) を開発、供給を開始 11月6日

欧米やアジアでの拡販を目的として、日本規格に比べ高遮光性タイプの医薬用管ガラスを開発し、供給を開始しました。新たな製品ラインアップにより海外に向けて積極的な販売を展開し、成長分野である医薬用管ガラス事業の拡大を図ってまいります。



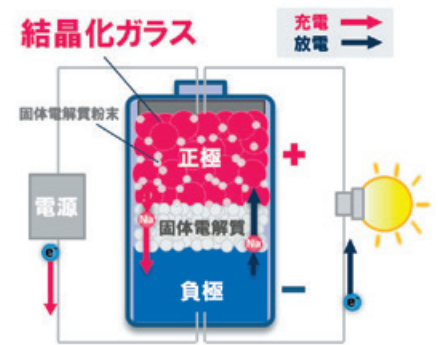
▲ 新開発の医薬用管ガラス(下)と現行品(上)

結晶化ガラスを正極材に用いた全固体ナトリウム(Na) イオン二次電池の室温駆動に成功 11月8日

現在主流の有機系電解液を用いたリチウム(Li)イオン二次電池の課題(安全性や、原料供給不安など)の解決策として、当社は、正極材にNa系の結晶化ガラスを用いた全固体Naイオン二次電池を試作し、世界で初めて室温駆動に成功しました。



▲ 作製した電池による点灯テスト



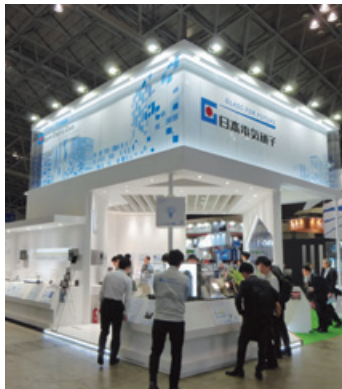
▲ 全固体Naイオン二次電池の構造模式図

展示会レポート

CEATEC JAPAN 2017

10月3日～6日 千葉・幕張メッセ

散乱層付基板ガラスを使った有機EL照明と遠赤外線透過ガラスレンズを使ったナイトビジョン用カメラの実演が、多くの来場者の興味を惹きました。



Fakuma 2017(国際プラスチック加工専門見本市)

10月17日～21日 ドイツ・フリースハーフェン

既存製品の高品质と安定供給をお得意先にPRすると同時に、新製品のフラットガラスファイバ*の紹介も行うなど、当社の強みを来場者へアピールする格好の機会となりました。

*長円形の断面をもつガラス繊維。熱可塑性樹脂に混練し、樹脂成形品の反りや寸法安定性の改善に寄与。



CSR

中国・浙江大学に寄附講座開設

9月20日 調印式

浙江大学(中国浙江省杭州市)に寄附講座「NEG Endowed Chair in Glass Chemistry」を開設しました。この講座は、ガラスの化学的特性について明らかにするとともに、技術・研究・教育における知的・人的資源の交流や活用を通じて、両者の協力関係を構築することを目的としています。



▲ 調印を終えた浙江大学の邱教授(左)と当社山崎取締役常務執行役員(右)

会社概要

会社概要 (2017年12月31日現在)

創 立 1949年12月1日
 商 号 日本電気硝子株式会社
 本 社 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号
 TEL 077(537)1700(代表)
 FAX 077(534)4967
 資 本 金 32,155百万円
 従 業 員 数 6,776名 (連結)
 営 業 所 大阪・東京
 事 業 場 大津・滋賀高月・能登川・
 精密ガラス加工センター
 主要事業内容 特殊ガラス製品の製造・販売
 連結子会社 国内12社・海外15社
 ホームページアドレス <http://www.neg.co.jp/>

取締役および監査役／執行役員 (2018年3月29日現在)

取締役会長 (代表取締役)	有 岡 雅 行	社長執行役員	松 本 元 春
社 長 (代表取締役)	松 本 元 春	専務執行役員	竹 内 宏 和
取 締 役	竹 内 宏 和 佐 本 雅 博 津 田 幸 博 山 崎 博 久 小 田 純 一 野 田 修 一	常務執行役員	笹 本 伯 彰 佐 田 幸 博 津 崎 博 樹 山 崎 純 丸 森 修 一
常勤監査役	来 住 富治夫 應 治 雅 彦	執行役員	後 藤 茂 金 井 敏 岸 本 憲 中 竹 内 野 村 清 久 保 博 松 宮 正 加 禁 晴 角 見 智 森 昌 高 井 正 堀 内 拓 小 林 正
監 査 役	木 村 圭二郎 松 井 克 浩		

※1 社外取締役
 ※2 社外監査役

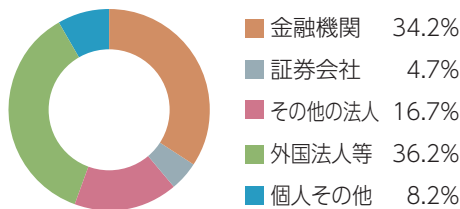
株式の状況

(2017年12月31日現在)

株式に関する事項

発行可能株式総数 240,000,000株※
 発行済株式の総数 99,523,246株※
 単元株式数 100株※
 株主数 11,085名
 ※2017年7月1日付で、単元株式数を1,000株から100株に変更し、併せて、当社普通株式5株を1株に併合いたしました。

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ニプロ株式会社	12,715	12.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,810	8.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,804	5.8
THE BANK OF NEW YORK 133524	1,858	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,772	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,649	1.7
株式会社滋賀銀行	1,617	1.6
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	1,410	1.4
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,342	1.3
GOVERNMENT OF NORWAY	1,272	1.3

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 基準日 定時株主総会関係・期末配当金支払関係
 毎年12月31日
 中間配当金支払関係
 毎年6月30日
 上場証券取引所 東京(市場第一部)
 株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
 (郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)
 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
 (電話照会先) ☎0120-782-031
 (インターネットURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
 公告の方法 電子公告 (<http://www.neg.co.jp/>)
 ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない
 場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式に関するお問い合わせ先

内容	お問い合わせ先
支払期間経過後の配当金について 特別口座に関する事項(※1) (特別口座から一般口座への振替請求等)	三井住友信託銀行(株) ☎0120-782-031
氏名・住所等の変更	□座を開設されている証券会社等
配当金の受領方法(振込先等)の指定	* □座を開設されていない方は 上記三井住友信託銀行(株)
単元未満株式の買取・買増請求(※2)	

※1 特別口座のまま売買等を行うことはできず、一般口座への振替えが必要です。
 ※2 当社での買取りまたは1単元(100株)に不足する数の株式を当社から買増することができます。
 なお、当社での手続きに係る費用は無料です。



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。